

## 中学生が魚料理に挑戦!

調川中学校の生徒が12月5日、地元で水揚げされたアジなどを使って魚料理に挑戦しました。

松浦魚市場協会が魚食普及を目的に、毎年市内の中・高生を対象に実施しています。この日は、ホテル櫻梅閣の米倉栄料理長を講師に招き、同校の2年生27人



が挑戦。アジ・ヤリイカの刺し身、アジのすり身揚げコロッケなどを作りました。

最後に、生徒を代表して國安泰史君(調川・江口2)が「この料理を自宅で作って、家族に喜んでもらいたいです」とあいさつしました。



## 水産加工品を販売

松浦市水産加工団地まつりが11月25日、調川町の水産加工団地内で開催されました。

新松浦漁協の加工施設が完成し、水産加工団地内の各施設がそろったことを記念して、松浦市養殖加工拠点形成推進協議会(板谷國博会長)が開いたものです。

この日は、水産加工品即売コーナーが設けられたほか、ふぐ鍋の無料配布や加工品オークション、勝ち抜いた人が加工品を獲得できるじゃんけん大会などがあり、市内外の多くの買い物客でにぎわっていました。

## 人権週間に啓発活動

人権週間(12月4日~12月10日)にちなんで、市内の人権擁護委員による人権啓発活動が、12月4日に松浦地区、10日に福島、鷹島の両地区で行われました。

人権擁護委員は、地域の中で人権意識を広め、市民の人権相談にあたっています。啓発活動では、委員が各町の中心部で啓発物品を配布。人権尊重に対する市民の相互理解を呼びかけていました。

また、人権相談所が市内3か所で開設され、悩みごとなどの相談にあたっていました。



## 「的射ち」と「稲舞」を奉納

来年の豊凶などを占う「的射ち」と「稲舞」が12月2日、白浜神社で奉納されました。

神殿の天井二隅に取り付けられた的をめがけて矢を射ち、来年の豊凶を占う「的射ち」では、中川明宏宮司が矢を放ち、直系60%的的に3本ずつ命中させました。

また、「稲舞」では、収穫した稲の束を石本駿太郎君(5つ)が担いで、中川宮司と一緒に舞を披露。その稲の穂を集まった氏子ら約70人に配って、翌年の豊作を祈りました。



## シキミの出荷 最盛期

松浦しきみ組合(前田耕一組合長)が12月、御厨町木場免の集荷場でシキミの出荷の最盛期を迎えました。

同組合は、御厨町の7戸で3年前に発足。種まきから始め、昨年からは出荷を始めました。シキミは、シキミ科の常緑高木で、仏壇などのお供え用として多く利用されています。1年中収穫することができ、同組合では年



4回出荷しています。

12月中旬、組合員は切り取ったシキミを約10本ずつに束ねる作業に追われていました。

今期は、約15,000束を岡山県や兵庫県に出荷しました。

## 小中学生の書を展示

洗心書道松浦支部(近藤美舟支部長)が12月1日から9日にかけて、小中学生作品展示会をきらきら21で開催しました。

9月に福岡県田川市で開催された洗心書道全国展の出品作品43点と、

近藤支部長と、夫の寿一さんの県展入選作品なども展示され、会場に訪れた人は力作ぞろいの作品に見入っていました。



## 身近なスポーツクラブの設立を

総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラム松浦大会が12月2日、文化会館で開催されました。

地域住民の誰もが参加できるスポーツクラブを設立することを目的に、文部科学省の総合型地域スポーツクラブ育成推進事業の一環として開催したものです。

大会には、市体育協会役員、市体育指導委員、県内のスポーツクラブ関係者など約70人が参加。久留米大学ゆきぎなてつべい行實鉄平氏による「地域づくり・街づくりのための総合型地域スポーツ

クラブ」と題した基調講演の後、すでに活動しているスポーツクラブの事例発表とフォーラムが行われました。



## 松浦市租税教育推進協議会会長賞に 平田永吉君と中村結花さん

税を考える週間（11月11日～17日）の行事の一環として、中学生と高校生を対象に募集した「税に関する作文」の入賞者が決まり、11月29日に市役所市民ホールで表彰式が行われました。

今回は、平戸税務署管内から約1,300点の応募があり、本市からは10点が入賞しました。入賞者は次の通りです（敬称略）。

### 【中学】

- 松浦市租税教育推進協議会会長賞 平田永吉（調川中3年）
- 平戸税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞 前田絵里奈（鷹島中3年）、宮田聡美（今福中3年）、山下みさき（青島中2年）、吉丸慧（福島中3年）
- 平戸税務署長賞 田島瞳（鷹島中3）

### 【高校】

- 松浦市租税教育推進協議会会長賞 中村結花（松浦高3年）
- 松浦市租税教育推進協議会優秀賞 大浦幸子（松浦高3年）、川上千鶴（松浦東高3年）

- 長崎県租税教育推進協議会代表幹事賞 中村杏奈（松浦高3年）



## おはなしの会 「ポケット」が 市立図書館に 寄付

よか図書館をつくろう会おはなしの会「ポケット」（三木和枝会長、15人）が12月7日、水軍まつりでのバザーの収益金を市立図書館に寄付しました。

同会は、月1回、図書館を訪れた子どもたちに、人形劇や紙芝居、読み聞かせなどを行っています。

市立図書館の図書購入に活用してほしいと、10月末の松浦水軍まつりの際に、衣料品や古本などを持ち寄ってバザーを実施。その収益金92,224円を寄付したものです。

この日は、会員など10人が市役所を訪れ、三木会長から友広市長に寄付金が手渡されました。

三木会長は「郷土愛を持つ子どもを育てるための図書購入などに活用してもらいたいです」と話していました。



## 久保川アサオさんが100歳

久保川アサオさん（志佐・里1）が、入院中の菊地病院で12月14日に100歳の誕生日を迎えました。

久保川さんは、明治40年生まれで、若いころから農業に従事し、高齢になってからも農業の手伝いや庭の手入れをしていました。8年前から同病院に入院し、普段はテレビを見たり、入院中の患者さんと一緒に会話を楽しんでいます。現在は、子どもからやしやこ玄孫まで合わせて29人。

この日は、友広市長からお祝いの言葉や花束を、病院からは久保川さんの写真などを貼った手作り色紙などが贈られ、受け取った久保川さんは「ありがとうございました」とうれしそうにお礼を述べました。